



2月21日(火) 高校スポーツ大会

梅香る春の嵐の中、高校スポーツ大会が行われました。



砂嵐にも負けず華麗なボールさばき。
チームワークでもぎ取れ！一点を。

【総合グラウンド】

男子

soccer

蹴球

futsal

女子

【高校校庭】

寒さに負けない、熱い戦い！！



ファインプレーに観戦席からも大歓声！

【第二体育館】

男子

籠球

basketball

女子

【総合体育館】

心ひとつにパスをつないでゴールへシュート！



「勝利を懸けて!! 一球ごとに深まる絆」

団体競技を通してチームワークを深め、互いに刺激し合う事によりさらなる向上を目指したスポーツ大会。今年は新たに女子ドッジボールが加わり全7種目となり、高校1・2年生が広大な敷地を利用し、5会場に分かれて熱戦が繰り広げられました。



祝 ★1位！



サッカー		フットサル	男子バスケ	女子バスケ	ソフトボール	バーレーボール	ドッジボール
1位	該当クラスなし	S組合同	2E①	1F	1C	教員	1G 2D
2位	2C	1A	1I	2C	2C	1G	1H 2C

壘球

softball

男子

【野球場】

バットとボールを持つと、みんな少年！



排球

volleyball

女子

【総合体育館】

笑顔いっぱい！楽しました！！



避け球

dodgeball

女子

クラス対抗
【総合体育館】

女の子だって、パワフルです！





支援会活動に、ご協力をありがとうございました。 ～平成28年 生徒支援会役員・幹事挨拶～

副会長 上妻 志乃

副会長としての役割や責任を感じた、貴重で有意義な年でした。昨年度の反省を基に協議を重ね、学校・保護者・子ども達がよりよい学校生活となるよう、試行錯誤しながら活動してまいりました。今後も支援会活動をより身近に感じて頂けるよう努めて参ります。

副会長 平本 明美

副会長とともに、三黒代表として父母の会8支部の役員も兼任し、他校の保護者との様々な出会いや活動を通じて有意義で貴重な経験をさせていただき、大変感謝しております。拡充支部大会では、沢山の保護者の方にご参加いただき、これらの活動が功を奏し、一定の成果が挙がりました。人と人との繋がりの大切さと出会いに感謝致します。

書記 田中 友香

子どもたちの為に出来ることを、また自らも楽しく活動する事を念頭に活動して参りました。一保護者として過ごしてたら気づかなかった学校、先生方や子どもたちの活動、なにより、たくさんの保護者との交流が勉強になり、参考になり、楽しかったです。

会計 倉内 久仁子

今年は中3オブザーバーとして、学年委員の皆様と密度の濃い時間を共有できました。新しい出会いや楽しい事、時には苦労もありましたが、私も子どもと同様に学園生活の思い出を積み重ねているようで、有意義な一年を送ることができました。ご協力いただいた皆様、一年間ありがとうございました。

監事 田中 三喜子

生徒が豊かで安全な学園生活を送れることを第一とし、保護者視点での課題提起とその対策について、役員会の先生方と一緒に検討し、コツコツと前進して来た1年間だったと思います。支援会の持続的成長には、その時々の状況に応じた柔軟性を持ちながら各活動をブラッシュアップし続けることだと学ぶことができました。

理事 秋元 幸恵

支援会活動に関わる方々との信頼関係を「創る」、学校との信頼関係を「創る」、活動で「創る」喜びを味わう、ことを心掛けました。わからないことが多く、不安や失敗もありましたが、皆さまから大変貴重なアドバイスをいただき、私自身の視野も広がったと感じます。一年間、本当にありがとうございました。

理事 白井 あずさ

今年は委員会のオブザーバーとして活動をさせて頂きました。よりよい学校生活を支援するための支援会。その活動の主体となってくださる委員会の幹事さん。学園に関わる全ての人が如何にしてよい学校生活を送れるか、試行錯誤の連続でしたが、学びや発見の連続でもありました。これからも成長できる自分、組織でありたいと思っています。

理事 西山 明美

支援会の役割を理解し、学校と保護者様の潤滑油としての役割を担うよう意識して参りました。支援会活動を通じて子供の成長を身近に感じ、大勢の保護者様と知り合い情報交換をする事ができました。一年間楽しく活動出来たことを嬉しく思います。

理事 日名子 呉子

学年委員会のオブザーバーとして、外進生と内進生、また初めて幹事を引き受けられた方と経験者が協力して活動できるように心掛けました。役員としては、保護者の皆様のご意見に対し、その場の「快」に流されることなく「何が本当に必要なのか」を複数の視点から慎重に考えて学校に伝えられたのか反省は多々あります。「小さなことにも労を惜しまずスピード感を持って取り組む」様々なことを学ばせていただきました。

各委員会委員長より～

- ①どのようなことを目標に活動しましたか？
- ②一年間を振り返って一言お願いします。

中1学年委員長 大山口 弥紀江

①中1学年委員では、保護者の皆様の親睦の和を広げる茶話会をメインに活動しました。短い時間でしたが、子供達の学校の様子や出来事などを情報交換したり、連絡先を交換できる素敵な時間をどう作るか考えました。

②学年委員長という大役に不安がありましたが、支援会会长やオブザーバー、中学1年委員の皆様、そして担当の先生のおかげで楽しく過ごせました。幹事になり、素敵な方々に出逢えた事に感謝の気持ちでいっぱいです。一年間、本当にありがとうございました。

- ①どのようなことを目標に活動しましたか？
②一年間を振り返って一言お願ひします。

中2学年委員長 江原 文子

①学年として茶話会、セミナー、講演会等の企画を検討し、6月に合同茶話会を実施。支援会活動として、三饗祭のサポート、私学振興大会参加をしました。

②委員長として大役をまかされ不安いっぱいのスタートでしたが、先生方、オブザーバーの方々、メンバーに恵まれ、大変な事もありましたが、みなさまのご協力のもと楽しく活動ができました。支援会の活動を通し、知ることが多く貴重な経験をさせていただき感謝しています。一年間本当にありがとうございました。

中3学年委員長 谷川 法子

①全員が、仕事などのいろいろな事情を抱えながら活動をするため、状況的に厳しい時は遠慮なく言うこと、お互いに助け合うこと、の2点を常に心がけました。

②中3は卒業式後の「卒業を祝う会」の開催をメインの活動としました。慣れないことに戸惑いもありましたが、終わった後に「やってよかったね」と中3学年委員全員で笑顔で話せるよう、3学期に入りラストスパート！ 開催まで全力で頑張りました。

高1学年委員長 小川 稲子

①学校及び保護者相互の信頼関係を深める事を目標に活動しました。主な活動として進路学習部小泉先生による「進路講演会」と「クラス茶話会」を開催しました。講演会はとても貴重で参考になるお話でした。保護者にとっても有意義な時間だったと思います。

②委員長となり、しっかりやっていくのだろうかという思いがありました。しかし、役員の方々や先生方のご協力をいただき、様々な良い体験とともに一年間の任期を無事終える事ができ、本当に感謝しております。

高2学年委員長 佐藤 ゆり子

①楽しく、そして負担が少なく出来ることを目標に活動しました。

②支援会活動を通じ、先生方、そして役員の方達と出会い、嬉しい繋がりも生まれました。一期一会に感謝です！ 先生方、支援会幹事や役員の皆さん、高校2年の保護者の皆様にご協力いただき、一年間楽しく活動することができました。

高3学年委員長 中山 由美子

①高校生活最後の年なので、先生方への感謝をどのように表現しようか意見をしっかりと交換することと、お仕事を持っている方がほとんどで、受験生を抱える学年でもあるので、短時間で実りの多い委員会にしたいと思い、出発しました。

②卒業式が委員の本番なので、今の時点でまだ振り返りはできませんが、担任や副担任の先生方への記念品を、試行錯誤しながら(わいわいいいながら^_^;)作成したことは、楽しい思い出になりました。わが子とともに晴れやかに卒業式を迎えるたいと思います。

イベント委員会委員長 池田 宗子

①できるだけ少ない負担で、楽しく活動することを目標にしました。さらに、なかなか知り合う機会のない他学年の父兄と交流が持てるよう心がけました。

②1番に感じるのは、メンバーに恵まれた事です。中学から高校まで6学年にわたるため、最初はとても不安でしたが、皆さんが積極的に参加して、できる事やできない事を明確にしてくださったので、とてもやりやすく感じました。担当の先生はじめ教職員の皆様、オブザーバー、支援会本部の皆様には、とても助けていただきありがとうございました。

リサイクル委員会委員長 藤野 晃子

①制服のデザイン変更があったため、リサイクルできるものとできないものを明確にし混同させないように、また、リサイクル品を提供して頂き、一人でも多くの方に気軽に活用してもらえるように頑張りました。

②リサイクル委員会の活動は、主に三饗祭での制服販売です。制服を提供して下さった方々や委員の方々に協力して頂き、無事に販売ができたことをうれしく思っています。ご協力ありがとうございました。

コミュニケーション委員会委員長 坂井 千鶴

①生徒達の“今”を切り取り伝えること。

②コミュニケーション委員一丸となり、1年間で3号の支援会レターを無事に発行できました。慣れない保護者記者が取材に伺い、ご迷惑をお掛けする事もあったと思いますが、来年度もより良いレターが発行できる様に頑張りますので、これからも取材協力をよろしくお願い致します。ありがとうございました。



Information from 生徒支援会

☆生徒支援会活動で話題に上ることが多かった「メール配信」について、簡単にご紹介します。



▶「メール配信システム」とは？

緊急時の連絡の迅速性を確保するため、平成24年度に「メール配信」が導入されました。平成28年度からは、電話連絡網が廃止され、この「メール配信」が正式な連絡網となりました。また、このシステムを利用して緊急情報以外にも、行事情報等が随時配信されています。現在約2,500名の登録があります。

Q: どんな情報が配信されるの？

A: 例えば、台風や雪など天候による**登下校の変更・臨時休校の情報**、**校内のイベント情報**、**校外学習の解散時刻などの変更情報**、**インフルエンザ等による学級閉鎖情報**、**支援会活動の連絡情報**などです。原則として該当する学年にメールが配信されます。



Q: 毎年度登録するの？

A: 登録は、クラス替えや卒業生削除のために、**毎年度当初にシステム利用者自身による再登録が必要**です。年度初め（平成29年度は4月8日）に配付される新規・再登録についてのプリントで手順をご確認ください。
再登録の場合、旧学年・クラスで登録してしまう方が多いそうです。登録には学籍番号も必要ですから、**新年度の身分証明書を確認しながら入力**しましょう。

Q: 新学期の「登録期間」に登録し忘れてしまいました。年度途中からでも登録できるの？

A: 登録のための空メールアドレスやQRコードに変更はありませんが、登録のためのパスワードが変更になっていますので、**担任までご連絡ください**。登録用のプリントをお渡しします。



Q: 登録したメールアドレスを第三者に知られるようなことはありませんか？

A: 保護者が登録したメールアドレスは安全に管理されており、学校からの連絡以外に利用されるようなことはありません。

Q: 携帯電話の他に、パソコンのメールアドレスも登録できますか？

A: パソコンのメールアドレスでも大丈夫です。**1家庭につき最大で3件まで登録できます**。

「メール配信」システムを便利に正しく利用できるよう、新学期に学校より配付されるプリントをご確認ください。

学校にご来校の際は、入校証の着用をお願いします！



中学、高校の入学時に各ご家庭に2枚ずつ、入校証を配付しています。ご来校の際は必ず着用ください。生徒たちの安全な学校生活のためにも、何卒ご協力をお願い致します！

ご不明点は各担任までご連絡ください。